

目指す生徒像

- 1 自ら学ぶ生徒
- 2 心豊かな生徒
- 3 たくましい生徒
- 4 視野の広い生徒

啐啄同機

はじめまして

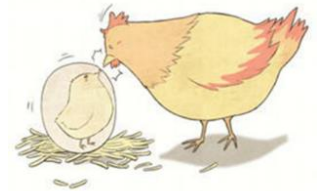
今年度、若松原中学校長として着任しました、大川 美子（おおかわ よしこ）と申します。

学校と保護者の皆様・地域の皆様と連携し、お子様の健やかな成長を目指していきたくと思います。どうぞ、ご支援、ご協力をお願いいたします。しなやかな心、折れない力こそ、新しい時代を生きていくお子様たちの大きな財産になることと思います。ぜひ、お子様が自分事として、課題に向かい、解決策を模索しながら、自分で乗り越えていけるよう、お見守りと、ご助言をお願いします。

校長室だより「啐啄同機」は、校長室に掲げてある津久井汀舟先生の書から、得たものです。

鳥は誕生時、啐（雛が内から殻をつつく）、啄（親が外からつづく）、両者の機鋒が同じ時に、相統合する好機のことということです。一般には、啐啄同時ですが、生徒の成長する好機を逃さずとらえ、よりよい成果を上げてほしいとのねらいから、汀舟先生は「機」の文字を選ばれたようです。

お子様の中学生時代は、一度きりの大切な成長の時間です。若松原中学校教職員と共に、お子様にじっくりと向き合い、自己解決の力を育めるよう、精一杯努めます。今後とも、どうぞよろしくお願いいたします。



新入生 203 名を迎えました



晴天に恵まれた4月9日（金）、第40回入学式が行われました。

昨年度からリニューアルした制服に身を包み、203名の新入生が若松原中学校の一員となりました。新入生代表の千葉紫音さんが誓いの言葉を堂々と語る姿に頼もしさを感じました。コロナ禍の中、保護者の方を一家族1名に限定させていただきましたが、温かくお見守りいただく中で挙行できたことは、この上ない喜びでした。

式辞では、苦しい場面や悩みにぶつかった時、心が折れそうな時（折れてしまっても!）にも、くじけずに、折れても立ち直る力を磨き、しなやかな心をもって 乗り越えてほしいとお話ししました。

令和3年度入学式 式辞（一部抜粋）

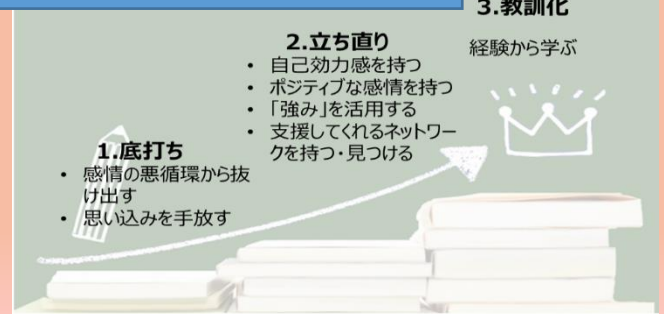
折れても立ち直る力を磨き、高めるのに必要なことは、「自分にはできる力がある」と思うことと、「挑戦するぞ」「きっとできる」の気持ちです。

反対に、立ち直る力を弱めるものは、「どうせできない」の「どうせ」という気持ちです。

人には、それぞれ良さがあります。その良さに気付かず、できない自分ばかりを見てしまうと「どうせ」と自分が、自分を、諦めてしまうのです。

辛いことがあっても、よくよく 自分を見ると、誰にも負けない 良い面が、数えきれないほどあるものです。諦めずに、自分自身と向き合うことで、向かう方向、やることが見えてきます。お互いの考えや意見を 交換したり、学び合ったりして、お互いの良さを見付け合い、「きっと君ならできる」と支え合って、共に成長してください。

レジリエンス（折れない心）作り



【動画で学ぶ】レジリエンスカトレーニング より

生徒会企画の対面式

4月14日(水)生徒会朝会で新入生と2・3年生の対面式を実施しました。あいにくの天気だったため、校庭での実施から、テレビ放送に切り替えての実施でしたが、新入生を歓迎する気持ちをしっかり伝えられました。



在校生代表：庄司葵さん、新入生代表：川又美緒菜さん、二人の希望に満ちたあいさつの後、若中クイズのイベントもありました。新入生には、一日も早く若松原中での生活に慣れ、存分に活躍してほしいと思っています。



GIGA スクール構想も進行中



一人1台のタブレットの活用が始まります。

日本では、『デジタル=遊び』のイメージが強くありますが、コロナ禍の中、再確認された、学習機会と学力の保証をねらいとし、積極的に推進してまいります。短期目標として、『Step1:「すぐにでも」「どの教科でも」「誰でも」使えるICT』の合言葉の下、全ての生徒、教職員が一人1台の端末を

文具の一つとして、授業の内外で日常的に活用できることを目標とします。

家庭への持ち帰りは、まだ先になりそうですが、授業の中での活用法をすべての先生方で模索しながら、積極的に進めてまいります。



「GIGAスクール構想」とは？

子どもたちに、**1人1台のパソコン**、
学校に、**高速のインターネット環境**を整備し、
子どもたち一人一人に応じた新たな学びを実現させるものです！！

気品あふれる若松原を目指して…「立腰&瞑想」の時間



生徒指導部が中心となり、授業や学校生活が落ち着いた雰囲気となることを目的として、5時間目が始まる前の5分間「立腰&瞑想」の時間としています。

時間に追われ、忙しく、落ち着く暇がない日々ですが、学校全体が静けさに包まれ、心を落ち着かせることができるこの時間は、とても貴重なひと時です。目的達成を目指して、「全校一致」で、どんなことも、こつこつと、同じ気持ちで、継続することが大切であると考えています。家庭学習の効果を上げるために、始める前に立腰を行うこともお勧めします。

若松原中学校は、今年度40周年を迎えます

昨年度の準備委員会に引き続き、いよいよ今年度PTA会長山木宗男様を中心として実行委員会が始動しました。記念事業部、記念誌編集部、事務部などたくさんの方々のご協力を得ながら進めていただいています。式典は、11月20日(土)を予定しています。実施に向け、できる限りの工夫を凝らしていただいておりますので、ご協力をお願いいたします。

